

### 嵐山幼稚園で3歳児保育を始めます

令和5年度から

嵐山幼稚園では、家庭や地域社会、関係機関等と連携し、子供たちの豊かな心と体を育て「生きる力」の育成を目指しています。

子供たちは遊びの中でさまざまなことを経験し、学んでいきます。嵐山幼稚園では遊びを大切に、また今の時期にしか味わえない経験や体験を大切に日々過ごしています。

3歳・4歳・5歳とつながる保育を意識し、子供たちの「がんばる力」を育てていきます。

自然豊かで、木々に囲まれた笑顔あふれる嵐山幼稚園にお子様を預けてみませんか。

3歳児募集の詳細については、広報嵐山11月号に掲載します。



嵐山幼稚園マスコットキャラクター さわとらくん

■問合せ 教育委員会事務局 Tel.0493-62-0823  
嵐山幼稚園 Tel.0493-62-2108



### 保育所利用申込のご案内

令和5年度

保育所は、保護者が就労、病気等の理由で、家庭で子どもが見られない場合、その子どもを保育する児童福祉施設です。「下の子に手がかる」「近所に遊ぶ子がいない」「集団生活にならしたい」等の理由では入園できません。

利用を希望する場合は、保護者の就労等を理由としたお子さんへの保育の必要性の認定を受けたくて、各施設の利用申込みをしていただきます。(認定申請と利用申請を同時に行います)

#### ■町内保育所

保育園名	所在地	電話番号
東昌保育園	菅谷11-3	0493-62-3411
東昌第二保育園	千手383-1	0493-62-7429
嵐山若草保育園	太郎丸381	0493-62-7111
嵐山しらこぼと保育園	古里1848	0493-62-0564

#### ■保育所の手引き・申請書の配布

10月7日(金)より福祉課窓口で配布します。町ホームページからもダウンロードできます。

#### ■申込受付

日にち：10月7日(金)～11月25日(金)※

場所：役場福祉課窓口

#### ■注意事項

▶申込書類一式に必要事項を記入し、期限内に提出してください。

※町外の保育所を希望される方は、10月28日(金)までにお申込みください。(市町村により期限が早まる場合がありますのでご確認ください。)

※入所の決定は、申込み順ではなく、保育の必要性の高い順に調整し、決定します。

※認定を受けたとしても、必ず入所できるとは限りません。

■問合せ 福祉課 Tel.0493-62-0716

## ～子ども達の未来のために～

### 「嵐山町立小中学校再編等審議会答申」説明会を開催しました

答申は、嵐山町立小中学校の将来を見据えた学校の在り方についての方向性を審議会よりお示しいただいたもので、今後この答申の内容を尊重しながら基本計画等を策定していくことになります。

参加者からは、小中一貫教育や今後の日程、スクールバスについてなど、さまざまなご意見・ご質問が寄せられました。

学校再編についてご意見・ご質問などございましたら、町ホームページ内「町政のご意見箱」、役場、図書館、ふれあい交流センター、生き生きふれあいプラザやすらぎ、B&G海洋センターに設置されている町民の声ボックスへお問い合わせください。また、答申の全文は右記QRコードよりご確認ください。

問合せ 教育委員会事務局  
Tel.0493-62-0823



▲嵐山町立小中学校再編等審議会答申

## 教育の広場

「みて、触って、関わって」  
～体験を通して～



問合せ 志賀小学校 Tel.0493-62-5888

#### 学校ファームの活用

総合的な学習の時間、4年生の児童の畑をふれあい市民農園「しかむら」の畑をお借りして、学校ファームを行っています。この学習は、食料と農業の結びつきや地域の人との関わりを学ぶ時間と考えています。

5月30日、サツマイモの苗を植えました。当日は、ボランティアの方々のご指導を受けて、あっという間に植えることができました。秋の芋掘りを楽しみにしています。9月には、大根の種を植える予定です。



#### 田植え（谷津田のため池農法）を体験

6月14日、5年生は、総合的な学習の時間と社会（私たちの食料生産）に関連させて、米作り栽培に取り組みました。実際に田んぼに入って、苗を植える体験をしました。

志賀小学校はバケツ稲にも挑戦しています。個々に種もみから苗にして、苗をバケツの中に植え替えました。バケツ稲を育てることで児童が生長過程をより身近に学ぶことができました。児童達は、苗の生長の早さに驚いています。

夏休みは、自宅に持ち帰り、秋には収穫です。田んぼに植えた苗は、収穫したら、給食に出るそうです。



#### 小川警察署の方に学び、命を守る。「交通安全教室」

交通事故が多いとされる新年度当初、1、2年生は横断歩道の渡り方を、3年生から6年生は、自転車の乗り方を、実際に自転車を使用して学びました。

親子防犯教室知らない人に声をかけられたときの対応、スマートフォンやタブレットの危険性や正しく使うことが大切であることを学びました。

コロナ禍ですが、感染症対策を行いながら、できることを大切にして教育活動を進めていきたいと思っております。

